

りんご栽培情報 第1号

令和7年3月14日
J A ア ル プ ス
富山県富山農林振興センター

1 概況

園芸研究所果樹研究センター（魚津市）では、「ふじ」の開花始め（連続して1～2花開花した日）を4月22～23日（R6:4月17日、R5:4月11日、R4:4月20日、平年値4月22日）と予想しています（3月11日現在）。開花情報の最新情報は、「富山県農林水産総合技術センター園芸研究所」のホームページ（下記QRコード）で確認してください。

なお、3月13日に気象台から発表された1か月予報では、向こう1ヶ月の気温は、2週目以降は、かなり高い～高いとなっています。

開花期前後は黒星病防除の重要時期となるので、開花時期が、現時点での予測より早くなることも想定して、生育状況をよく観察しながら防除作業を行ってください。



果樹開花情報ホームページ

2 病虫害防除

近年、カイガラムシ類の被害が増加傾向にあります。この対策として、トモノールS50倍の散布を徹底するとともに、カイガラムシ類多発樹は、散布前にワイヤーブラシ等で削り落とししてください（図）。

成木基準

（散布量：1回目:300L/10a、2回目以降:500L/10a）

回	時 期	対象病虫害	使用農薬	希釈倍率	100L 当たり 必要薬剤量
1	3月中～下旬 （発芽前～ 芽出直前直後）	カイガラムシ類、ハダニ類	トモノールS	50倍	2 L
2	4月上～中旬 （発芽2週間後）	黒星病、斑点落葉病 ハマキムシ類、ケムシ類	アントラコール顆粒水和剤 ファルコンフロアブル マイリノー	500倍 6,000倍 20,000倍	200 g 16 mL 5 mL
3	4月中下旬 （開花直前）	黒星病、赤星病、うどんこ病 黒点病、褐斑病	インダーフロアブル トレノックスフロアブル※1 マイリノー	10,000倍 500倍 20,000倍	10 mL 200 mL 5 mL

※1:トレノックスフロアブルは結実に影響するので、開花が進んだ状態での散布は控える。

農薬散布の際は、濃度や対象病虫害など、農薬容器のラベルを必ず確認してください。
また、周辺の他の作物や住宅等に薬剤が飛散しないよう十分注意してください。

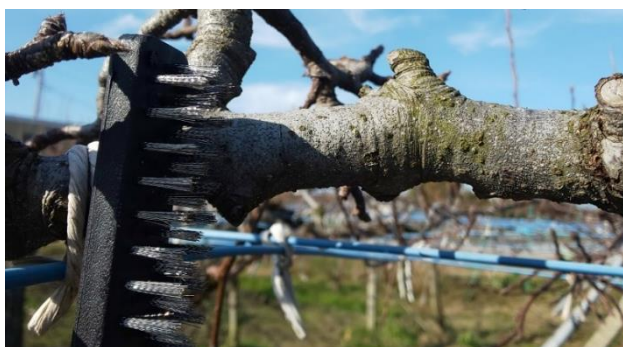


図 ワイヤーブラシによるカイガラムシ類の削り落とし

左:削り落とし前（細かい粒状のものがカイガラムシ類） 右:削り落とし後（日本なしでの実施例）

3 いぼ皮・粗皮削り

主枝や側枝のいぼ皮は、放置しておくと果実の輪紋病の伝染源となりますので、粗皮削りやいぼ皮の多い側枝の除去に努めましょう。また、粗皮の下には、カイガラムシ類やシンクイムシ類、ハダニ類等が潜んでいます。粗皮削りは、これら越冬害虫の密度低下に効果がありますので、前年に発生が多かった園地では積極的に実施してください。

なお、いぼ皮を削った箇所には、塗布剤（トップジンMペースト等）を塗布してください。